

2026. 4. 30



山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

（電話：083-924-2113 FAX：083-932-2817

Eメール：[a50401@pref.yamaguchi.lg.jp](mailto:a50401@pref.yamaguchi.lg.jp)）

## 【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

\*各イベントの詳細については、当センターのホームページよりご確認ください。 →



### ★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

○日時：令和8年5月12日（火）6月2日（火）11：00～11：20

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児 ○定員：10組程度

### ★「第1回新刊児童書閲覧会」

○日時：令和8年5月14日（木）～5月20日（水）9：00～17：00

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしょしつ 3F）

○対象：市町立図書館職員、学校図書館関係者、ボランティア関係者、子どもの本に関心のある方

○定員：一人2時間、各時間帯20名程度（申込み優先・当日参加も可）

○申込方法：5月13日（水）17:00までに、電子申請又はFAX、来館（HPの要項をご覧ください。）

[https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/center\\_annai/center\\_annai-28362/](https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/center_annai/center_annai-28362/)

### ★「乳幼児期における読書習慣の定着に向けた研修会」

○日時：令和8年6月20日（土）13：30～15：30（受付13：00～）

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしょしつ 3F）

○内容：講義「日頃の保育のお悩み解決～こんな絵本はどうかしら？」

講師 村中 李衣 氏（児童文学作家・山口学芸大学客員教授）

○対象：県内の幼稚園教諭・保育士・保育教諭等

○定員：30名（要申込み、先着順）

○申込方法：6月12日（金）までに、電子申請フォームより申込み（HPの要項をご覧ください。）

[https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/center\\_annai/center\\_annai-28460/](https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/center_annai/center_annai-28460/)

## 【新刊紹介】価格は消費税抜き

### <絵本-乳幼児から>

『おんどりなんてなく？』 マリー・ダルム=リゾ/さく いだみほ/やく ワールドライブラリー 2026.2 ¥1200

おんどりのなきごえをにほんごでいうと「コケッコー」。でもフランス語では「コリコ」というよ。ほかのところでは、どんなふういきこえているのかな。15の言語による雄鶏の鳴き声を、アルファベット表記やそれぞれの地域・民族をイメージしたイラストとともに紹介した、世界に触れる絵本。原書は2025年ポローニャ・ラガッツィ賞赤ちゃん絵本の部の最優秀賞受賞作。

### <絵本-3, 4歳から>

『スーパーゆっくりマン』 酒巻恵/作 教育画劇 2026.2 ¥1500

スーパーゆっくりマンは、まちをまもるヒーロー。かいじゅう「デカイドン」がまちをこわしにきた、というでんわでおきたスーパーゆっくりマンは、トイレやきがえ、あさごはんまでのんびりすませてから、ようやくしゅっぱつ。いっぽう、スーパーゆっくりマンをたおすつもりだったデカイドンは、だんだんまちくたびれてきて…。マイペースに平和を守る、新時代のヒーロー絵本。

### <絵本-5, 6歳から>

『ララのまほうのことば』 グレーシー・ジャン/さく やのあやこ/やく 工学図書 2025.7 ¥1800

あきちのくさやはっぱをみどりのおともだちとよび、まいにちやさしいことばをかけるララ。あるひ、ララのおてんばにうんざりしたおかあさんから、きょうはそとへいかなないようにいわれ…。優しい心が絆を繋ぐ絵本。第31回いたばし国際絵本翻訳大賞（英語部門）最優秀翻訳大賞の受賞作を一部改訳して出版。第72回青少年読書感想文全国コンクール小学校低学年の部課題図書。

### <絵本-小学校低学年から>

『すきまちゃんのすきなすきま』 山本和子/さく にしむらゆうき/え Gakken 2026.2 ¥1500

ずこうのじかん、すきまテープとモールでつくったにぎょうの「すきまちゃん」たち。よるになると、がっこうのあちこちのすきまにあそびにいって…。日本文教出版の教科書『ずがこうさく1・2上』掲載の題材をもとにした絵本。「すきまちゃん」との遊びを通して、日常の中の何気ない場所やものを新たな視点でとらえる楽しさが描かれる。巻末に原題材作成者のコメントあり。

### <絵本-小学校中学年から>

『ほんとうのよるをさがして』 マーシャ・ダイアン・アーノルド/ぶん スーザン・レーガン/え ひさやまたいち/やく 評論社 2026.2 ¥1800

どこもかしこもひかりだらけのよる。あかるすぎるせいでキツネやクマはねむれず、トリはもうこうがわからず、ムシやカエルはなかまとはなせない。みんなはよるのくらやみをさがしにでかけ、やがてうみべについて…。人工的な明かりが多すぎることで自然界に何が起きているかを描き、まだ知名度の低い環境問題「光害」について警鐘を鳴らす絵本。作者による光害の解説あり。

<読み物—小学校低学年から>

『ンビリの王子、旅にでる』 長江優子/作 fancomi/絵 くもん出版 2026.3 ¥1400

ンビル王国にいるライオンの王子ンパオ。生まれてすぐに母を亡くし、父のンダディ国王も失って、新しい国王になることに…。ンパオ王子は、ンビル王国では「ん」のつく言葉は何でも「ん」から始めるというきまりを考え、王国中に知らせる旅に出る。旅を楽しみながら、生きていく上で大切なことに気づく物語。巻末の二次元コードから物語を彩る歌の演奏（楽譜付き）が聴ける。

<読み物—小学校中学年から>

『まだまだここから』 宇佐美牧子/作 酒井以/絵 ポプラ社 2025.5 ¥1400

水泳だけは得意な4年生の蓮。スイミングスクールの特訓生になるため年に一度の検定にチャレンジしたが不合格に…。くじけそうになりながらも、「すいすい川原クラブ」で出会ったインストラクターの春田さんや、同じ年の海音（かいと）と陽太と練習に励む。目標に向かって挑戦を続ける蓮の成長物語。第72回青少年読書感想文全国コンクール小学校中学年の部課題図書。

<読み物—小学校高学年から>

『リヒト!』 イノウエミホコ/作 文研出版 2025.10 ¥1500

何事も計画通りに進めたい性格で、正解を探そうとする6年生の理人（りひと）。親戚で真反対の性格に思える大学生マサムネと行く、異国の地ドイツへの旅を通して、人に対する自分の見方を変えていく。尊敬する祖母の節さんが亡くなる前、理人に託した封筒に込められたメッセージとは…?第72回青少年読書感想文全国コンクール小学校高学年の部課題図書。

<読み物—中学生から>

『君の火がゆらめいている』 落合由佳/作 講談社 2025.11 ¥1500

自閉症のある菜々実の双子の妹、葉澄。同学年で同じく障害のある弟をもつ恵太との出会いから、障害や重い病気のある兄弟姉妹がいる「きょうだい児」が集まる会があると知り…。中学生になった葉澄が、恵太やある事から疎遠になっていた友達の倫との交流を通じて、障害について考え自分の人生に向き合っていく物語。第72回青少年読書感想文全国コンクール中学校の部課題図書。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『たねはいのちのおわりとはじまり』 鈴木純/著 ブロンズ新社 2025.10 ¥1400

「たね」の中には、植物の命の秘密が詰まっている。それぞれちがう植物だけど、みんなはじまりはたった一粒の「たね」。「たね」の一生を追い続けた記録を豊富な写真とともに紹介する。植物の生き方を知り、小さなものに対する見方が広がる1冊。著者は植物観察家・植物生態写真家の鈴木氏。第72回青少年読書感想文全国コンクール小学校低学年の部課題図書。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『宇宙でウンチ みんなの知らない宇宙トイレのひみつ』 A. ボンドー=ストーン/作 C. ホワイト/作 L. ケンセス/絵 千葉茂樹/訳 あすなろ書房 2025.2 ¥1500

長い時間を宇宙船で過ごす宇宙飛行士にとって、日々のトイレは大問題。アメリカ航空宇宙局（NASA）の科学者による長年の研究で、宇宙でトイレができるようになるまでを易しい言葉と楽しい絵で紹介する絵本。快適な宇宙旅行の裏側には、科学者と宇宙飛行士たちの数々の試行錯誤の歴史があった。第72回青少年読書感想文全国コンクール小学校中学年の部課題図書。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『はじめての縄文のくらしえほん』 書田亜紀子/文 スソアキコ/絵 パイインターナショナル 2026.2 ¥2000

今からおよそ1万6500年～2400年前の縄文時代。1万年以上も続いた時代に生きていた縄文人は、どのようにくらしをしていたのか。森や海でとれる食材から保存食を作ったり、石や骨などでくらしに必要な道具を手作りしたりと、自然のものをむだなく使う縄文人の知恵や工夫、春夏秋冬のくらしの様子を、豊富な絵や登場人物のセリフにより分かりやすく紹介する。

<ノンフィクション—中学生から>

『キミの一步 アフリカ』 味田村太郎/文 あかね書房 2025.3 ¥1800

大学在学中にアフリカでの支援活動を経験し、2014年からNHK初代ヨハネスブルク支局長として30か国以上で取材してきた筆者。チェスや日本の折り紙など様々なことに夢中なアフリカの子ども達の様子や周囲で支える大人、紛争や貧困、環境問題といった彼らを取り巻く状況を親しみやすい文章と写真で伝える1冊。第72回青少年読書感想文全国コンクール小学校高学年の部課題図書。

<研究書>

『絵本と子どもと歩いた日々』 山脇百合子/作 のら書店編集部/編 のら書店 2026.3 ¥2000

実姉・中川李枝子と一緒に、童話『いやいやえん』、絵本『ぐりとぐら』シリーズなどを作った画家・山脇百合子初のエッセイ集。幼少期の家族との思い出、絵を描きはじめて頃の話、子育てと絵本作りに励んだ日々など…。絵が生まれる背景にあった暮らしや生活、作者の思いなどが丁寧に綴られる。のら書店編集部が2018年に作者にインタビューしたものに、加筆訂正して出版。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索（OPAC）では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→  
<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary/>

